ZOOM UP 世界各国でのJETAAの活躍

JET プログラムの運営を海外からサポートするとともに、自治体の国際展開の推進力となりうる存在である JETAA。多くの JET プログラム参加者が、JET プログラム終了後世界各国で組織される JETAA に所属している。本特集では、JETAA や JETAA 国際会議の概要について紹介し、彼らの世界各国での活動について見ていく。

〔(一財)自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課〕

1

JETAA の概要について

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

関係組織概要

多くの JET プログラム参加者(JET 参加者)は、JET プログラム終了後、世界各国で組織される JETAA に所属している。そのほか JETAA-I や AJET といった関係組織があり、JET 参加者は、プログラム参加中だけでなく、終了後もプログラムの発展のため、それぞれボランティアで活動を行っている。

まずは、それら組織の概要について紹介する。

1. JETAA (JET Alumni Association)

JETAA とは、日本の英語教育の質向上および地域の国際化を目的とする JET プログラム(Japan Exchange and Teaching Programme / 語学指導などを行う外国青年招致事業)を終了した JET プログラム経験者(JET経験者)の有志により設立した同窓会組織である。2022年3月現在、日本を含めた20の国と地域で活動しており、その数は53支部、会員数は2万人以上にのぼる。JETAA 設立の経緯や活動内容については、次ページ以降で紹介する。

2. JETAA-I (JETAA International)

JETAA-I は、JETAA の上部団体で、世界中の JET 経験者の国際的な統括組織である。JETAA 各支部、クレ

ア、外務省との連絡調整、世界中の会員への情報提供などを行う。また、P4、5にて紹介する JETAA 国際会議を主催している。

現在20か国と53支部に約22,000人が在籍

国	会員数		
JETAA アメリカ	約 9,900 人		
JETAA カナダ	約 3,700 人		
JETAA イギリス	約 2,000 人		
JETAA アイルランド	約 500 人		
JETAA ドイツ	約 300 人		
JETAA フランス	約 300 人		
JETAA 韓国	約 400 人		
JETAA シンガポール	約 200 人		
JETAA オーストラリア	約 2,000 人		
JETAA ニュージーランド	約 700 人		
JETAA 日本※	約 900 人		
JETAA 南アフリカ	約700人		

JETAA の主な国別の会員数(2022年3月現在。休止支部は除く)

※日本在住の JET 経験者が所属している



3. AJET (The Association for JET / JET プログラム 参加者の会)

AJET は、現役でプログラムに参加している JET 参加者の有志によって構成された自主サポート団体である。 JET 参加者間の互助を図るとともに、プログラムの実施についても側面的な協力活動を行っている。

JETAA 設立まで

JET プログラムが 開始された 1987年 から 2 年後の 1989 年、AJET により、 JET プログラムを終 え帰国する JET 経験 者のための事業が検



る JE | 経験 シンガポール支部 者のための事業が検 出発前オリエンテーション

討された。この際、AJET 千葉県代表スコット・オリンガー氏により JETAA 設立の提唱がなされ、AJET 自らが設立準備を行った後、1989 年4月に京都で開催された「契約更新者会議」において、JETAA の設立が決定された。設立にあたり、以下のとおり4つの活動目標が定められた。

- ①地域レベルにおける国際化の推進
- ② JET 経験者のネットワークをつくり帰国者に就職と 進学に関する情報の提供を行うこと
- ③ JET 経験者相互間の情報交換を円滑にすること
- ④ JET プログラムに対する協力と未来の JET 参加者の 選定を支援すること

主な活動内容

JETAA は、以下(1)~(4)の活動を中心に、支部ごとに 多様な活動を行っている。

(1) 草の根レベルの国際交流

ア 日本文化の紹介イベント

海外で日本文化を紹介するため、日本関連イベントへのブース出展や、夏祭りなどのイベントを開催している。

イ 日本との交流活動

日本から訪問した団体や学生との意見交換や、姉 妹都市交流の支援を行っている支部もある。

ウ 現地の日系機関との交流

ジャパンソサエティや日本政府観光局 (JNTO)

などの日系機関と、イベントなどを通じて草の根レ ベルでの交流を行っている支部もある。

(2) 災害支援・寄付活動

東日本大震災、熊本地震、2018年7月豪雨などの 災害の際、JET参加者の安否確認、募金活動、被災地 でのボランティア活動などを行った。

(3) JET プログラム運営の支援

ア 広報および採用活動の支援

在外公館と協力し、プログラムの応募時期には大学などで募集説明会を行っているほか、在外公館で行われる採用面接のサポートなども実施している。また、支部によっては支部主催のイベントでパンフレットを配布するなど、広報活動も行っている。

イ 出発前オリエンテーション

在外公館が主催して、毎年新たに日本に出発する JET 参加者を対象に訪日スケジュールや日本での注 意事項などを説明する出発前オリエンテーションが 行われており、各支部から説明者として参加するな どしている。

また、来日後も新型コロナウイルス感染症感染拡大により、14日間の待機を求められたときは、ビデオ通話で不安な参加者のケアを行い、サポートした。

(4) 新規帰国者の支援および JET 経験者同士の互助

ア 帰国者歓迎レセプション

在外公館が主催となり、帰国したJET経験者向けに歓迎レセプションを行っている。各支部では、同レセプションに参加し、逆カルチャーショックを和らげるために新規帰国者へのアドバイスや、母国の生活や社会に馴染むための有意義な情報を得るリソースとして支部の紹介を行っている。

イ 就職支援

帰国した JET 経験者向けにキャリアフォーラム を開催し、帰国後の就職情報の提供や、リクルート 会社の紹介などを行う支部もある。

ウ ネットワーキングイベント

JET 経験者同士の横のつながりの強化や、各支部 と日系機関などとの交流を深めるためのさまざまな イベントを開催している。

(CLAIR REPORT No.432 より一部抜粋)

2022 年 JETAA 国際会議

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

11月10日から12日にかけて、2022年 JETAA 国際会議が東京で開催された。本会議は、JETAA 支部間の連携を深化させるとともに AJET、日本の政府機関などを含め、JET プログラム関係者全体の協働体制を強化することを目的に、JETAA-I、総務省、外務省、文部科学省およびクレアが主催しているものである。国内外から67名が参加し、JETAA-I、JETAA 各国代表、JETAA 東京・西日本支部代表、AJET 全国役員会のほか、日本政府観光局(JNTO)、日本貿易振興機構(JETRO)、国際交流基金(JF)、海外子女教育振興財団(JOES)にもオブザーバーとして出席いただいた。



会議の様子

会議内容

会議では、JETAA 各国代表および JETAA-I からの活動報告が行われたほか、意見交換会では、主に以下 4 のテーマが議論された。活動報告については、その一部を $P8 \sim 13$ で紹介する。

1. 動画コンテストの実施

(JETAA-I) 動画コンテストの開催を提案する。JET 参加者や JET 経験者が作成した動画は、日本のプロモーションなどにも活用することができる。関係団体にスポンサーとして協力してもらうことで、さらに効果的に実施できる。3年に1回の開催とするなどして、継続して実施していきたい。

(**JETAA 国代表**) 現役の JET 参加者ともコラボレーションできたらと思う。

(クレア) 動画コンテストの実施について、JNTO などに情報共有したい。動画を各団体の事業に活用できる

とインセンティブが上がると考えるが、どのように連携できるか、今後検討していく。赴任地で感じたことを発信することが趣旨のため、任用団体に協力してもらうと現役 JET 参加者の参加が増える。総務省などに、任用団体に PR していただくよう協力をお願いしたい。

2. JET 参加者のキャリア支援

(JETAA-I) Facebook のグループを使ってリクルート情報を発信してきたが、今後、形を変えて進めていきたい。クレア、政府、または関係団体からメンターシッププログラムなどの支援をしてもらえないか。JET 終了後は大学院に進学する JET 参加者もいるため、日本の大学院ともパートナーシップが組めたらと思う。また、母国に帰った JET 経験者の日系企業への就職を支援いただくことは可能か。



JETAA-I 会長ナタリー・ン氏による挨拶

(クレア) クレアでは、グローバル人材を求める企業 と日本での就職を希望する JET 参加者をマッチングさせることを目的に、JET プログラムキャリアフェアを実施している。今後も、JET 参加者がどんなキャリアを歩みたいのか、しっかりニーズを把握し、事業を進めたい。また、クレア海外事務所においても、帰国後の JET 経験者のためのキャリアフェアを行っており、日系企業に参加いただくよう働きかけを行っている。

(JETRO) JETRO の海外事務所からも、JET 参加者にコンタクトを取りたいと考えている企業が多いと聞いている。また、現地でのマーケティングに強みを生かせることや将来母国で責任者になってほしいという理由で、



日本での採用に関心を持っている企業も多い。JETRO は、毎年 JET プログラムキャリアフェアへ参加しているが、JETRO 海外事務所においてもクレアなどとの連携に関心があるため、引き続き協力していきたい。

(外務省) 外務省としても、JET 経験者が各国で活躍され、日本の外交資産になるということは重要なことと考えている。



会議の様子(JETAA-I)

3. JETAA の活動支援

(JETAA 国代表) JET 参加者の少ない国が人数を増やすためにはどうしたらよいか。何か施策を実施していただけないか。プログラム終了後も日本に残る人は多く、JET 参加者は日本の資産になる。

(クレア) 自治体の希望があれば、クレアとしてはあっせん・配置することができる。JET プログラムの参加にふさわしい方がいれば、是非、在外公館に情報提供していただきたい。

(外務省) JET 参加者の少ない国について、一部の在外公館では日本国内の自治体へアプローチを試みている。例えば、在フィリピン大使館ではフィリピンの国際交流員(CIR)の受入れについて、姉妹都市関係にある自治体へ働きかけを行っている。しかしながら実際に参加者を増やすことができるかは、自治体からの希望次第という部分はあるが、外務省としてできる支援を行いたい。

(JOES) 活動支援については、JOES としてもどういった連携ができるのかこれから考えていきたい。

4. 自治体と JET プログラム経験者とのつながり

(JETAA 国代表) 数年前にはふるさとビジョンプロジェクトという事業があったが、これを復活させ、JETAA と AJET とのつながりを深めるのはどうか。

(クレア) 本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で休止してきたが、これまでのやり方でいいのか方法



参加国のフラッグ

を模索している状況である。クレアとしても自治体と JET 経験者とのつながりを継続し深めていきたいところ。

(総務省) 自治体と JET 経験者とのつながりについては、KenJETKai をはじめ、重要な役割があると考えている。 JET 経験者と第2のふるさとをつなぐことで JET プログラム自体への理解も深まることから、どのような方策があるか考えていきたい。 KenJETKai については、まずは自治体に認識してもらうところから始める必要があると思う。活動状況についても総務省から自治体へ会議などで情報共有が可能。また、年に1度開催している JET 地域国際化塾においても、JET 経験者に参加いただくなど連携ができないか次回の開催に向け考えていきたい。

会議を終えて

今回は、新型コロナウイルス感染症を乗り越えての開催となった。これまでコロナ禍で停滞していた事業の再開に向け、今後はより一層活動に励みたい。そして、引き続き JET プログラム関係者の協働体制の強化およびプログラムの発展に努めてまいりたい。



歓迎レセプションにて

Once a JET, Always a JET

JETAA International 会長 Nathalie Ng (ナタリー・ン)

JETAA-I 会長のナタリー・ンと申します。2010年から静岡県の外国語指導助手(ALT)として JET プログラムに参加していました。2011年に JET プログラムを終了して以来、JETAA シンガポールおよび JETAA-I に所属し、さまざまな役職を務めながら JET プログラムに恩返しをするために活動しています。2022年は JETAA-I 会長として3年目を迎え、JETAA-I の規約にもあるとおり、会長として最後の年となりました。

JET プログラムに参加してからの 12 年間、私は多くのことを学びました。ひとつは、世界中の多くの JET 経験者が日本の文化や伝統、JET プログラムを全世界の多くの人々に広めるためにどれほど貢献しているかということです。

2020年3月から2022年10月までの間、日本は外国人旅行者の入国を禁止していました。それによって、さまざまな団体へのアウトリーチイベントの開催方法が変わりました。コロナ禍以前は、ほとんどのJETAA支部が浴衣や生け花教室のような対面式の活動をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症により対面式のイベントはほとんどなくなり、世界中のJETAAが工夫を凝らした方法で日本をアピールするようになりました。また、Instagramテイクオーバーなどの多様なSNSを活用し、日本にいる現役のJET参加者と関わりながら、

海外の方々が普段目にしない日本の魅力を世界に紹介しました。

11 月に東京で開催された JETAA 国際会議では、 JETAA や現役の JET 参加者が、機知と情熱を持って積極的に日本から得たものを世界に発信していることを実感しました。

日本の滞在期間は JET プログラムに参加した際の1年だけでしたが、当時の周りの方々の寛大さと配慮が、12年間 JETAA でさまざまな活動を続ける原動力となりました。今回の JETAA 国際会議で、同じ志を持つ JET の皆と集まることができました。私たちは皆、優しく自分

を迎え入れてくれた日本に恩返しを したいという情熱を持っており、中 にはプログラムを終了して 20 年以 上経っている者もいます。

JETAA-I 会長としての役目を終えた後も、国際社会で日本のアンバサダーとして活動する機会があることを願っています。



JETAA-I 会長 ナタリー・ン氏



2022 年 JETAA 国際会議に参加した国代表および JETAA-I 役員



カリブ海からのご挨拶

JETAA International 副会長 Laurence Inniss (ローレンス・イニス)

初めまして。JETAA-I 副会長のローレンス・イニスと申します。副会長としての任期は1期目です。以前は、JETAAトリニダード・トバゴ支部の設立に携わり、数年間 JETAAトリニダード・トバゴの国代表を務めていました。JET プログラムには、2008年から2013年までの5年間、長崎県佐世保市で外国語指導助手(ALT)として参加しました。

冒頭で申し上げたとおり、JETAA-Iの副会長としてはまだ1年目で、大変なこともありましたが、面白くてやりがいのある仕事でした。2022年 JETAA 国際会議の企画と準備でとても忙しかったですが、この会議が素晴らしい交流の機会だったと思います。参加者の国代表同士や AJET、クレア、関連団体と直接的な交流ができました。

また、JETAA 国際会議は、現役 JET 参加者の日本での生活や各 JETAA 支部の活動を改善するための新しいアイディアや取り組みを提案する機会にもなっています。今回は、全都道府県に貢献するための新しい JET 動画コンテストを提案することができて嬉しかったです。動画コンテストの目的は、日本の各地で活躍している JET参加者の「美」を紹介することです。さらに、国内観光とインバウンドの促進で、地域経済への効果も期待できます。

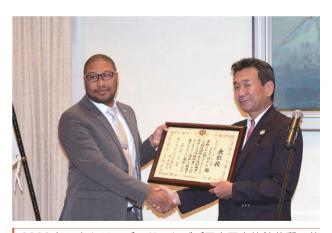
JETAA 国際会議では、非常に興味深いテーマとして、「インクルージョン」と「参加」が挙げられました。JET プログラムは、他国のこのような交流プログラムと比較しても、最も包括的な教育プログラムとして知られています。それはかなり評価できますが、国際会議では、任用団体がフランス、ドイツ、インドからの参加者を増やしてほしいという切実な要望が出されました。これらの国から参加する国際交流員(CIR)は、JET 参加者として日本での生活を満喫し、日本との間に永続的な絆を築いています。

インクルージョンに関しては、トリニダード・トバゴ、南アフリカ、シンガポールなど、他の参加国より人数の少ない国からの JET 参加要請を増やすことで、学生や

地域社会に貢献できると考えています。また、任用団体には、アンティグア・バーブーダ、セントルシア、ガイアナなど英語を母国語とする国々に要請を拡大するよう求める声もありました。

「JET コミュニティー」の皆さんは、JET プログラムが与えてくれる大きな機会と、参加者の人生に与えてくれる影響に感謝しています。この感謝の気持ちは、多くの JET 経験者が各 JETAA 支部活動に費やしている時間にも表れています。2022年の JETAA 国際会議に参加した国代表などの方々は、JET プログラムと全ての JET参加者および JET 経験者をサポートするために、仕事を休み、しばらくの間自分の家族から離れました。私たち、JETAA-I は、クレア、総務省、外務省、文部科学省、関連団体の皆様に心から感謝申し上げます。

私は、JETAA-Iの役員として、また一個人として、 母国のトリニダード・トバゴ、日本、そして世界中に、 JET プログラムと日本文化の発展をサポートし続けたい と考えています。どうもありがとうございました。



2020年に在トリニダード・トバゴ日本国大使館公邸で催されたトリニダード・トバゴの JET プログラム参加 15 周年の祝賀イベントにて、平山元大使から JET プログラムと日本文化の広報に携わった功績をたたえ、当時トリニダード・トバゴ支部会長であった筆者が代表して表彰を受けた際の写真(左が筆者、右が平山氏)

JETAA ジャマイカ支部の 20 周年

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

2022年は、カリブ海の中央に位置する島国、ジャマイカの JETAA 支部が 20 周年を迎えた。ジャマイカの国代表として 2022年 JETAA 国際会議に参加した、JETAA ジャマイカ支部会長のオレット・ミュアー(Orrette Muir) 氏は、2015年から 2017年まで石

川県七尾市で外国語指導助 手 (ALT) として JET プログラムに参加した。2022 年 11月 11日に行われた JETAA 国際会議の歓迎レセプションにおいて、ミュアー氏は20年間の支部の歴史と活動について熱く語った。



歓迎レセプションでスピー チをするミュアー氏

20年間の歴史

2000年にジャマイカから8人のALTが来日したことが、ジャマイカにとってのJETプログラムの始まりであった。そして2002年に初めてジャマイカからのJETプログラムを終了したJET経験者が帰国した。それから間もなく、2002年9月にジャマイカJETAA支部が設立された。JETプログラムに参加すること、そして日本で生活していた経験を活かしながら、日本で築き上げたネットワークの維持と会員同士の情報共有が支部設立の主な目的であった。設立当時は、中米・カリブ海地方で唯一のJETAA支部であったが、現在はトリニダード・トバゴ支部とも連携しながら活動をしている。



JAPAN EXCHANGE AND TEACHING PROGRAMME ALUMNI ASSOCIATION OF JAMAICA

FOSTERING AWARENESS AND CULTURAL EXCHANGE BETWEEN JAMAICA AND JAPAN

JETAA ジャマイカ支部ロゴタイプ



2022 年 JETAA 国際会議での様子(左から2番目)

現在は、ジャマイカから 73 人が ALT として JET プログラムに参加し、日本各地の自治体で活躍している。ミュアー氏は、「JET 経験者の数が他の参加国と比較して少ないにもかかわらず、JETAA ジャマイカが支部活動を続けてきたおかげで、2022 年で 20 周年を迎えられたことはとても大きな意味がある。20 年間の活動を通じて在ジャマイカ日本国大使館との連携を強化し、ジャマイカの市民社会に貢献した」と彼は誇らしげに語った。

20 周年を記念して

2022 年は、JETAA ジャマイカ支部設立の 20 周年を祝い、多彩なイベントが行われた。教会での豪華な式典を始め、ジャマイカの幼稚園の新装や演劇の披露など、さまざまな催しが行われた。さらに、ジャマイカ支部の



教会での記念式典にて



20 年の歩みを紹介する雑誌を発行した。これからも積極的にさまざまな活動を行い、日本文化への理解を深め、 JET プログラムのさらなる発展に貢献したいとミュアー氏は語る。

さまざまな支部活動

ジャマイカ支部は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で対面式のイベントの開催が難しい中でも、さまざまな支部活動を行ってきた。たとえば、金融リテラシーや SNS の活用方法についてのセミナーをオンラインで開催した。また日本の水際対策により来日がしばらく叶わなくなったことをきっかけに、毎年、日本の花見をイメージしてモモイロノウゼンの木の下に集まりピクニックを始めた。日本文化に関するクイズを出題し、日本とジャマイカの食べ物を食べながら参加者が気楽に交流できる場を提供している。

さらに、木を植えるイベントなど、次世代のための活動も行っている。例年、環境保全に配慮したイベントである「Beach Cleanup」(砂浜でのゴミ拾い)も開催している。



木を植えるイベント Beach



Beach Cleanup の様子



植えた木の下でのピクニックイベント

ジャマイカ支部が毎年行う活動の中には、JET プログラムへの参加に興味がある人のための説明会や、さまざまな形で日本文化を紹介するイベントがある。たとえば、

ジャマイカ国内の大学などでJETプログラムの広報を実施している。在ジャマイカ日本国大使館と協力しながら、新規JET参加者の募集と面接などを支援している。在ジャマイカ日本国大使館とは非常に友好な関係を保ち、JETプログラムの選考過程や出発前オリエンテーション、帰国者レセプションに限らず、Japan Day などの日本関連のさまざまな行事で常に連携している。その他にも、ジャマイカ支部は展示会を開いたり、さまざまな形で日本の文化を紹介するイベントをしたりしている。支部会員の忘年会も毎年開くなど、実に多様に活動している。



2022 年 JETAA ジャマイカ忘年会

JETAA ジャマイカ支部の 20 周年に先立ち、2020 年 11 月 20 日に、ジャマイカでの JET プログラムの開始を祝い、「ジャマイカ JET20 周年」の式典がオンラインで行われた。ジャマイカ支部は、支部活動助成金(GIA)を活かし、JETAA の中でも非常に活発な活動をしている支部の一つである。

JET プログラムで人生が変わった

「私にとって JET プログラムに参加したことは、人生を変えるような経験であった。数え切れないほどの素敵な思い出ができて、それらを一生忘れることはないだろう。クレアおよび日本国政府が JET プログラムを 1987年に設立して、35年間に亘ってプログラムを大きく発展させてくれたことに対して、JETAA ジャマイカ支部

を代表し深くお礼を申し上げたい」とミュアー氏はスピーチで語り、その場にいた全員は感動に包まれた。また、ミュアー氏は「JETAAジャマイカ支部は恩返しの意味を込めて、今後も JET プログラムに貢献するために活動を続ける」と語った。



オレット・ミュアー氏

JETAA International の活動について

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

JETAA-I は、世界中で活動している各 JETAA 支部を代表し、統括しているボランティア組織である。JETAA-I は、加盟条件 (規約、会員数など) を満たしている JETAA 支部を会員支部として認定している。各支部の代表者 たちが JETAA-I の会長と副会長を選出し、会長は役員 を指名する。JETAA コミュニティーの全体を代表する JETAA-I は、各 JETAA 支部や JET 経験者個人のため にさまざまな支援をしている。その一つとして、JET 経験者向けの求人情報を始め、多くの役立つ情報をウェブサイトにて提供している。JET プログラムの OB・OG が就職活動などに関して貴重な情報を発信する「Life After JET」というポッドキャストの配信も定期的に行っている。ここで、JETAA-I のいくつかの活動を紹介する。

Tech Helpdesk

元オーストラリア国代表のイーデン・ロー(Eden Law)氏は現在 JETAA-I のウェブマスターであり、元 JETAA-I 会長のザンダー・ピーターソン(Xander Peterson)氏と共に、2019年 JETAA 国際会議の後に作られた「Tech Helpdesk」という JETAA-I のワーキンググループを担当している。JETAA-I は各 JETAA 支部の支援のため、このワーキンググループの中で最新のオンラインツールなどに関する情報を共有し、活用方法について議論している。最近は、各 JETAA 支部がどのようなオンラインツールや SNS を使い、それをそれぞれの支部活動にどのように活かしているかについての調査を行った。これにより Slack や Discord などの新しいツールの開拓ができ、支部同士の共同作用につな



JETAA-I ウェブマスター イーデン・ロー氏



JETAA-I 役員 ザンダー・ピーターソン氏

がった。グローバルな DX の中で、新しい技術を活用し、 地理的に離れている世界中の JETAA 支部のネットワー クを強化することが Tech Helpdesk の一つの目標であ る。また、ワーキンググループの中での意見交換により、 普段直接的な関わりが少ない JETAA 支部同士のコミュ ニケーションも活発になっている。 JETAA-I は今後も 最新の技術的なイノベーションなどをウォッチし、ボラ ンティア組織のニーズに合わせたサポートを実施する。

KenJETkai

世界中の多くの国には、その地域に住む日本人が作った「県人会」がある。KenJETkai(KJK)はそのJETプログラム版だ。2002年から2006年まで熊本県で外国語指導助手(ALT)として活躍していたKJK考案者のマーク・フレイ(Mark Frey)氏のアイディアはシンプルであった。現役JET参加者と世界中にいるJET経験者が日本での第二のふるさととの絆を維持し、さまざまな情報を交換できる場を提供すること、それがKJKである。

JETAA-I は、2019年に KJK の促進のためにワーキンググループを作った。その担当は JETAA-I 役員のマシュー・ギラム (Matthew Gillam) 氏である。現在は、47 都道府県のうち 43 都道府県に KJK のグループがあり、合わせて 4,500 人以上のメンバーが入会している。それぞれの KJK は Facebook 上のグループで、JET 経験者と現役 JET 参加者のみならず、誰でも自由に参加できる。

2019年のJETAA 国際会議の意見交換会の中で、KJK について JETAA-I とクレア、総務省、外務省、文部科学 省の間で議論がされた後、2020年に JETAA-I が KJK を 促進するための具体的なプロポーザルを作った。 ギラム 氏は「クレアと協力しながら自治体を訪問し、KJK を活用 してもらうように説明を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により来日ができず、KJK を各自治体に向けて直接 PR する機会がほとんどなくなった。それにもかかわらず、JETAA-I は、出発前オリ



北海道	163	山梨県	85	山口県	15
青森県	53	長野県	81	徳島県	259
宮城県	43	岐阜県	72	香川県	37
山形県	4	静岡県	285	愛媛県	98
福島県	46	愛知県	16	高知県	188
栃木県	77	三重県	41	福岡県	64
群馬県	53	滋賀県	180	佐賀県	109
埼玉県	72	京都府	7	長崎県	167
千葉県	58	大阪府	70	熊本県	212
東京都	63	兵庫県	132	大分県	83
神奈川県	15	和歌山県	38	宮崎県	235
新潟県	59	鳥取県	65	鹿児島県	140
富山県	583	島根県	118	沖縄県	182
石川県	70	岡山県	48	計	4,628
福井県	121	広島県	121	会員数 (人)	

各 KenJETkai グループの会員数 (2022年11月現在)

エンテーションやさまざまなイベントで KJK について紹 介し、さらなる促進に取り組んできた。来日ができるよ うになったことから、今後は、クレアと調整しながら自 治体を訪問し、KJK の活用によるメリットについて説明 したいと考えている。フレイ氏は既に 2022 年の夏に来 日し、熊本県でKJK の話を進めている。」と語っている。

自治体が KJK を活用することによるメリットとして主 に考えられるのは、優秀な人材の確保と情報発信の窓口 という点だ。自治体だけではなく、その地域の中小企業 や民間団体が KJK を活用することで、さらに大きな効果 が期待できる。

JET プログラムを「卒業」した JET 経験者は各自治体

にとって貴重な人的資源であり、 その知識とネットワーク力を活 かし、地域を活性化させ、また は自治体の国際化を促進するカ ギである。JETAA-I は、JET 経 験者と自治体との絆を強化する ために、今後も KJK に力を入れ ていく。



JETAA-I 役員 マシュー・ギラム氏

大学などとの連携

JETAA-I は、大学院に進学したい JET 経験者のため に、多数の大学などとの連携を発展させている。担当は、 2014年から 2017年まで鳥取県で ALT としてプログラ ムに参加していた JETAA-I 役員のライアン・ハタ (Ryan Hata)氏である。JETAA-I は現在複数の大学などと提 携し、JET 経験者を対象に奨学金の給付や学費の割引を 実施している。提携先には、米国カリフォルニア州に ある Middlebury Institute of International Studies (年間 10,000USD 以上の奨学金)、米国ニューヨーク

州にある Syracuse University Maxwell School (30%以上の 学費割引)、東京都にある昭和女 子大学(学費免除と大学でのアル バイト) など、多数の知名度の高 い大学などがある。JETAA-Iは、 今後もさらに提携先を増やし、 JET 経験者をサポートしていく。



JFTAA-I 役員 ライアン・ハタ氏

新しい規約

JETAA-I は、各 JETAA 支部と同様に組織の規約 (Bylaws) を有している。今回の JETAA 国際会議では、 規約の更新に向けて JETAA 支部の代表者と JETAA-I の中で活発に議論された。2022年11月に更新された 規約は JETAA-I のホームページにて閲覧できる。規約 の改善により、組織の団結力と効率をあげることが目的 であった。JETAA-I は、新規で設立される JETAA 支部 の規約の作成などを支援している。

次の国際会議に向けて

次回の JETAA 国際会議に向けて、JETAA-I は既に準 備を進めている。JETAA-I は、これからもさまざまな 課題に取り組み、各 JETAA 支部、JET 経験者、そして JET プログラムのサポートをしていく。



JETAA-I 役員

世界中で活躍する JETAA 支部

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

現在、20の国と地域で53の JETAA 支部が活動しており、合わせて約2万2,000人の JET 経験者が各地域の支部に加入している。JET プログラムへの参加人数が多い国は複数の支部がある一方、参加人数が比較的少ない国には支部が1つあるのが一般的だ。各支部は、その地域や文化などの特徴によってさまざまな活動をしている。JETAA-I に加盟している支部は、毎年、1年の活動内容をまとめたレポートを作成し、JETAA-I を通じてクレアに報告する。また、JETAA-I は、2022年 JETAA 国際会議で、支部活動のいくつかの事例を紹介した。多くの支部が例年、現地の在外公館と連携しながら行っているのは、大学などでの JET プログラムの PR や新規JET 参加者の募集と出発前オリエンテーションの協力である。それ以外の活動も実にたくさんあり、それぞれの支部の特色が出ている。



JETAA 国際会議の様子

JETAA 支部の活動は、会員の日本での生活経験を活かした、日本の伝統文化などを紹介するイベントが多い。たとえば、シンガポール支部は、浴衣ワークショップを開いた。スコットランド支部は太鼓についてのワークショップを主催した。また、インド支部は、生け花と折り紙についてのワークショップを行った。また、韓国支部が日本語のスピーチ・コンテストを実施した。伝統文化だけでなく、日本での生活を紹介するイベントもある。ニューヨーク支部は、オンラインでラジオ体操をしたり、ライブ配信で日本の食文化を紹介したりしている。SNSとあらゆるオンラインツールを使った企画も多数行って

いる。シンガポール支部は、Instagram の写真コンテストや「Takeover」(個人の JET 経験者が数日の間、同支部の公式アカウントを利用し、日本の観光地などを紹介する)を実施した。

交流の場を提供

JETAA 西日本支部は、特に積極的にさまざまな活動を行っている支部の1つである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で対面式のイベント開催が困難だった際も、ワークショップをオンラインで開催し、会員を集めた。そして対面式のイベントができるようになってからは、待ち遠しかった直接的に交流ができる場を何回か提供した。2022年8月20日は、神戸市内のホテルで在大阪・神戸米国総領事リチャード・メイ(Richard Mei Jr.)氏を招いてランチ交流会を開催した。感染防止対策を徹底しながら、久々に人と人とのコミュニケーションができた。そして、2022年12月10日は、兵庫県西宮市で西日本支部の忘年会が開かれた。

JETAA の多くの海外支部がその地域の在外公館と連携している中で、西日本支部は米国総領事館と非常に友好的な関係を持っている。たとえば、2021 年は米国総領事リチャード・メイ氏と現役 JET 参加者の交流会を姫路市(4月)、石川県(6月)と福井県(10月)で行った。西日本支部は民間企業と連携し、JET 経験者が現役JET 参加者に対して就職活動のアドバイスをするイベントもよく企画している。



JETAA 西日本支部主催の交流会





JETAA 西日本支部忘年会にて

新型コロナウイルス感染症に 負けない

JETAA ドイツ支部会長のスヴェン・トゥラシェフスキ

(Sven Traschewski) 氏 は2006年から2010年 まで札幌市で国際交流員 (CIR) としてJETプログ ラムに参加した。ドイツ支 部は、コロナ禍でも工夫を 凝らして支部活動を続けた。



ドイツの新規 JET 参加者 JETAA ドイツ支部会長

2020年と2021年は、 の採用プロセスと来日直前 スヴェン・トゥラシェフスキ氏

オリエンテーションがオンラインで行われた。例年だと オリエンテーションの後に JET 経験者と新規 JET 参加 者が首都ベルリンにある日本国大使館でのレセプション に招待され、交流の場となっていたが、新型コロナウイ ルス感染症により実施できなかった。ドイツ支部がオン ラインで初めて試みたイベントは、2021年1月17日 に Zoom で開催された、約50人が参加した新年会で あった。会員同士の交流は予想以上の反響があったこと から、次のオンラインイベントとして、2021年4月25 日に「Wonder」というオンラインプラットフォームで 「Cherry Blossom Gathering」(花見会) を開催した。 このツールは、非公式のオンライン会議に最適である。 参加者は、本物のパーティーのように、「ぶらぶら」し、 グループからグループへ簡単に「ホップ」することがで きる。

2021年10月17日は、来日後待機期間中であっ たドイツの新規 JET 参加者 8 人と支部会員のオンライ

ン交流会を開催した。2022年1月9日は、新年会を 「Wonder」で開催したことで1年間のオンラインミー ティングが完了となった。その後も「Wonder」を使 い続け、2022年4月3日に、オンライン花見を再び開 催した。そして、新規 JET 参加者が日本に出発する前の 2022年8月14日にも、オンラインでミーティングを 行った。

「ドイツ支部は、このような新しいオンライン集会は 元々、直接会う会議の代わりとして始められたが、たと え対面式で再び会うことができるようになった今でも、 オンライン集会を続けることにした。その理由は、オン ラインという形式は、代用というよりも、離れた地方に 住んでいるメンバーが出会うための新たなチャンスであ ることが分かったからだ。多くの JET 経験者がいる日 本からも、オンライン集会に参加する会員がいる。距離 を越えて参加することができるようになり、以前よりも 親しい関係ができている。しかし、ドイツの JETAA コ ミュニティーのつながりを維持するために、直接会っ て話をすることは、これからも欠かせない」と支部会 長のスヴェン・トゥラシェフスキ氏は語る。そのため、 2022年6月12日にベルリンに本拠を置くドイツ支部 が再び屋外でピクニックをすることができたときは、と ても喜ばしいことであった。Zoom のバーチャル画像 のスクリーンショットだけでなく、ようやくお互いが向 き合って座る様子が撮影できたことも嬉しく思う。

(JET Streams Vol. 30 No.2 より一部抜粋)



JETAA ドイツ支部のピクニック

JET プログラム担当者の声

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

JET プログラム参加者は、外国語指導助手(ALT)や 国際交流員 (CIR)、スポーツ国際交流員 (SEA) として 日本全国で活躍しています。その活躍の背景には多くの 方々の支えがあり、中でも全国の自治体や教育機関の JET プログラム担当者は欠かせない存在です。

そこで、今回は、JET プログラム担当を経験したこ とのある自治体職員のお二方に、JET参加者と一緒に 働いて直面した課題や協働の秘訣について幅広くインタ ビューしました。

-プロフィール-



朝倉 秀明

千葉県大網白里市教育委員会 副主幹兼指導主事

- ・市教育委員会で ALT 2人を
- ・中学校英語教員として18年間 で9人のALTと共に働く

業務や働き方について教えてください。

自治体での ALT に関する業務は、服務に関すること や生活支援です。総務班の職員がアパートの手配や携帯 電話の契約など日本で安心して生活できるよう ALT を サポートし、私は ALT の服務管理や研修のサポートを しています。

JET 参加者と一緒に働く中でコミュニケーションに対す る困難はありましたか。

こちらが伝えた期日や内容などがしっかりと伝わって ないことがありました。お願いをする際や期限を伝える 際には、"なるべく"や"早めに"などの曖昧な表現を避 け、文章は短めにはっきり伝えるよう心掛けました。期 限のあるものについては、事前に何度か確認をし、守っ てもらえるよう注意を促しました。

JET 参加者がよく直面する問題は何ですか。

多くの ALT が大学を卒業した後すぐに単身で慣れな い日本で暮らしていますので、とまどうこともたくさん あります。日本に知り合いが少ない場合は、ホームシッ クになってしまう ALT もいました。ALT は市民向け英 会話教室の講師を務めていることから、地域の方との交 流を通して、仲良くなり安心感を得られることもありま した。病気になった時に、日本語がうまく話せず、と ても不安になっている ALT には、病院まで一緒に行き、 食事のサポートをしたこともありました。ALTを日本 の家族としてサポートできるようにしていきたいと思い ます。

他の JET 担当者や外国人と関わる仕事をしている日本人 へのアドバイスはありますか。

ALT は日本が好きで、来日してくれました。ALT は 什事を通して、日本人の良さや日本文化を体験していま す。働く中でさらに日本を好きになってほしいと思いま す。大学を卒業したばかりで若い ALT が多くいるので、 社会人として成長できるようにビジネスマナーなどを教 えてあげることも大切だと思います。日本で働いたこと が ALT 本人の将来にとってプラスになるようにサポート してほしいです。ALT のおかげで学校の生徒たちは外 国に興味をもち、将来世界を舞台に活躍してくれると思 います。ALTをサポートすることは将来の世界で活躍す る日本人を育てることにもつながっていると思います。

今後の日本の国際化や英語教育に対してなにかご希望や ご意見はありますか。

国際化とは日本人が海外に行くことだけではなく、外 国の方々を日本で受け入れていくことでもあると思いま す。日本語が話せない外国人が来日したときに、親切に サポートできる人材を育てていく必要があると思いま す。学校を卒業すると英語を使う機会が少なくなり、英 語の勉強をやめてしまう人もいると思いますが、生涯を 通して積極的に英語に触れて、外国の文化を楽しめる

ようになってほ しいです。ALT との出会いを通 じて日本人の国 際化がさらに進 むことを期待し ています。



JET 経験者と中学英語教師



プロフィール・



田村 佳代子

萩市総務部総務課 課長

- ・2016~2020年度CIR2人 を担当
- ・英国(クレアロンドン事務所) 2年間勤務

萩市の JET 参加者について教えてください。

萩市では、インバウンドへの対応とともに、各行政分 野で外国人の視点を活用した取り組みを行うことを目的 に、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の登録な どを機に 2015 年から CIR を任用しています。1863 年 に萩市出身の5人の若者「長州ファイブ」が日本人とし て初めて英国に密航留学するなど、歴史的に英国との つながりが深いことから、萩市では3人目となる現在の CIR を含め、英国出身の方に着任いただいています。子

ども向けの英語での読み聞か せや大人向けの文化講座など 住民向けのイベントを定期的 かつ継続的に開催するととも に、SNS を活用して萩市の 魅力を発信するなど、萩市の CIR はさまざまな分野で幅広 く活躍しています。



CIR による読み聞かせ

JET プログラム、JET 参加者との関わりについて教えて ください。

2013年度にクレア東京本部で勤務し、JET プログラ ムを担当しました。その際、CIR の日本語能力の高さを はじめとするその魅力を知り、萩市での CIR の任用に 向けて動き出しました。2015年8月から配属された萩 市初となる CIR、そして、2人目となる CIR とともに、 2016~2020年度にかけて総合政策部企画政策課にお いて国際関係の業務を経験しました。ともに働いた2人 のCIRは既に萩市を離れていますが、現在も折に触れ、 連絡を取り合っています。

JET 参加者と一緒に働く中で文化の違いやコミュニケー ションに対する困難はありましたか。

CIR と CIR 担当者は仕事上の大切なパートナーです。 職場では、机を隣同士にし、いつでも気軽に相談しなが ら業務を進めることができるような環境づくりに努めま

した。CIR は高い日本語能力を有し、また、日本での留 学経験がある場合も多く、日本語でのコミュニケーショ ンに対する困難はありません。そのため、しっかり意見 を交換することができ、文化の違いはもとより、仕事に 対する考えに違いがあった場合にも、お互いが納得のい くまで議論をすることができました。



日本外国特派員協会で現役 CIR と元 CIR と一緒に萩市の観 光情報を発信

JET 参加者がよく直面する問題は何ですか。

1年目の CIR の場合、多くの市町村で任用が 1 人とい うところがほとんどであるため、自身の職場や業務に慣 れるまでは孤独やストレスを感じることが多いかもしれ ません。

そんな時、CIR は、ひとりで悩まず、CIR 担当者や周 りの同僚などに遠慮なく助けを求めてください。そして、 CIR 担当者は、さまざまな施設への訪問や会合への参加 などあらゆる機会をとらえ、CIR を事務所(職場)から 外 (地域) に連れ出してください。任用直後の CIR にとっ て、地域の現状や課題などへの理解を深め、地域のキー パーソンと知り合いになる絶好の機会となり、悩みを解 決する一助になるかもしれません。また、可能であれば、 地域のイベントやメディアなどへの積極的な参加も提案 してみてください。徐々に認知度が向上し、CIR は住民 から愛される人気者になることでしょう。

JET 担当者になる前となった後では、ご自身の考え方や 働き方などに違いはありましたか。

積極的に、職場でコミュニケーションを取るようにな りました。国籍や性別、年齢、役職などに関係なく、お 互いの違いを認め、お互いを正しく理解するためには、 意見や考えを言葉に出し、対話や議論をすることが大事 だと気づくことができました。